

エコプロダクツ東北2012 -CFP活用セミナー- (2012.10.19)

CO2の見える化から始めるエコ戦略



社団法人産業環境管理協会 (JEMAI)
Japan Environmental Management Association For Industry

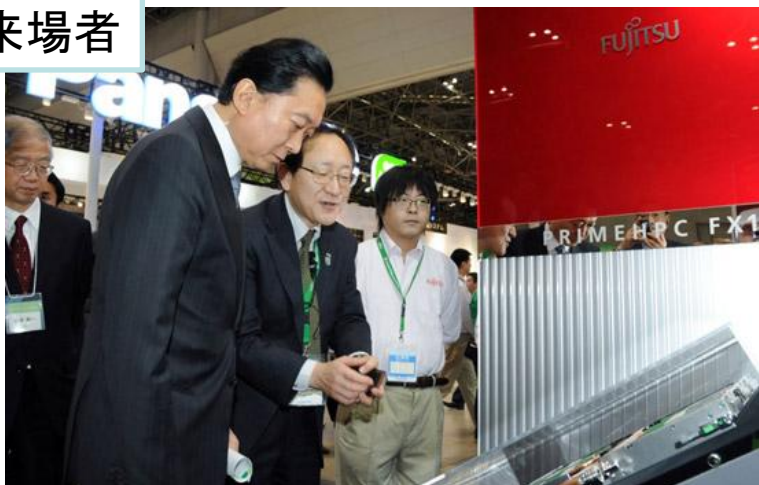
LCA事業推進センター 象徴 壁谷武久



エコプロダクツ展



来場者



会場風景



2010.12.15-17 第13回エコプロダクツ2011

会場風景

入場登録ゲート



社団法人産業環境管理協会(JEMAI)
Japan Environmental Management Association For Industry

出典:エコプロダクツ2012ホームページ



エコプロダクツ展



環境学習



エコカー市場会

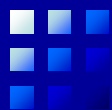


記念シンポジウム

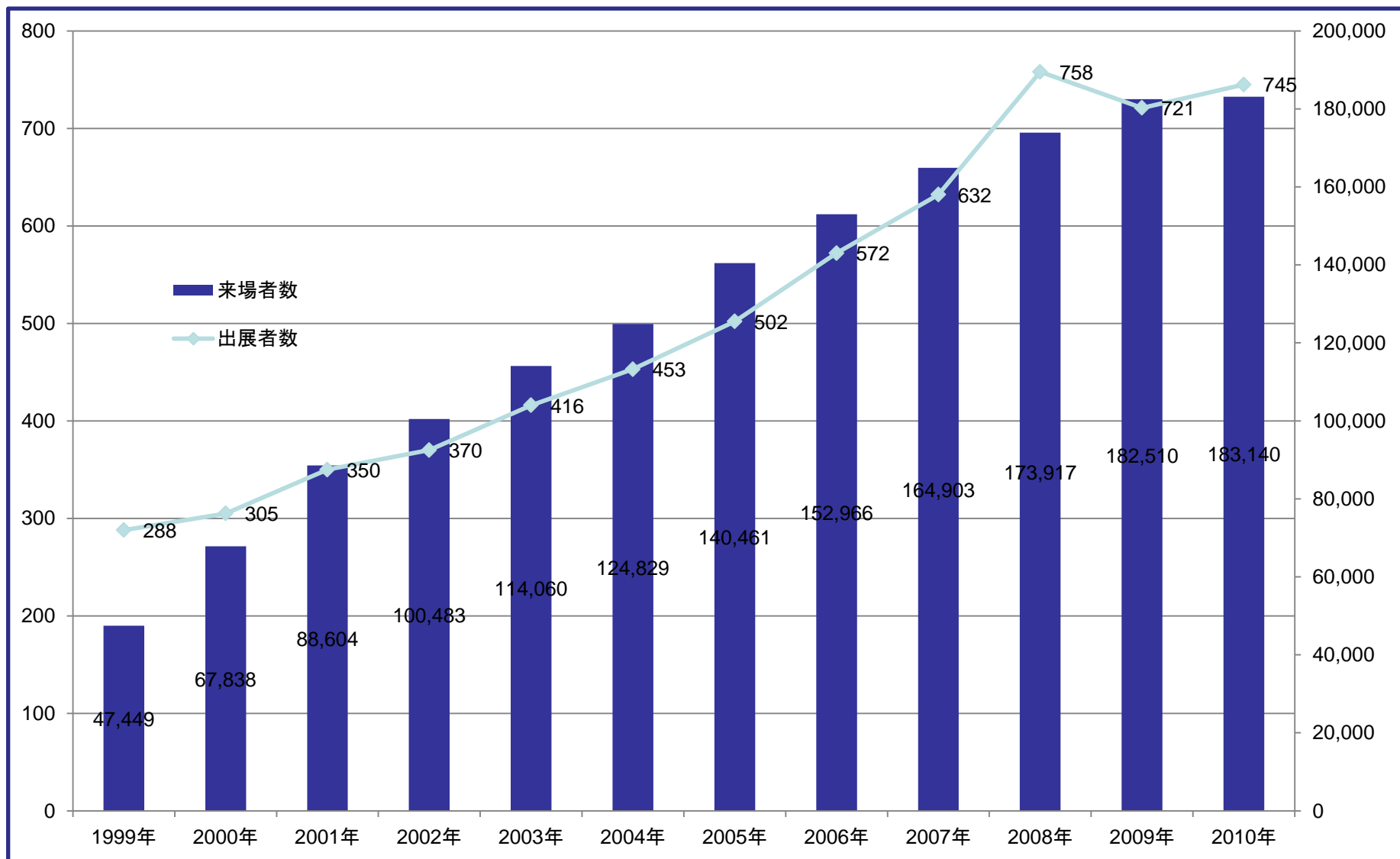


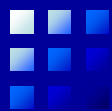
商談会





エコプロダクツ展の出展者及び来場者数推移





CFPについて

- ・「**エコプロダクツ2009**」(2009年12月10日～12日開催 来場者数:18万2510人 (昨年比 8593人増))においてカーボンフットプリントコーナー(経済産業省 環境調和産業推進室)を展示
- ・カーボンフットプリントの製品等 (参加事業者数27社 62品目(一部、未検証含む))



製品の数量	正味量 1kg
認定PCR番号	PA-AC-01 (衣料用粉末洗剤)
検証番号	CV-AC-001

6.3kg CO₂ 洗濯一回当たり 251g

カーボンフットプリント算定書
<http://www.cfp-japan.jp>
 検証番号 CV-AC-001

① 対象商品について
 品名 洗濯用合成洗剤 用途 綿 麻 合成繊維用 液性 弱アルカリ性
 使用量の目安 水 30Lに対し、20g
 商品の容器には、再生紙を使用しています。海外から輸送の際に、余分な作業が発生しないように効率的に配送しています。

② カーボンフットプリントの算定方法



社団法人産業環境管理協会
 Japan Environmental Management Association

エコプロダクツ2009出展製品

CFPについて

・「**エコプロダクツ2010**」(2010年12月9日～11日開催 来場者数:18万3140人 (昨年比 630人増))においてカーボンフットプリントコーナー(経済産業省 環境調和産業推進室)を展示



CFPについて

・「**エコプロダクツ2011**」(2011年12月15日～17日開催 来場者数:18万1487人 (昨年比 1653人減))においてカーボンフットプリントコーナー(経済産業省 環境調和産業推進室)を展示



社団法人産業環境管理協会 (JEMAI)
Japan Environmental Management Association

エコプロダクツ2011出展製品

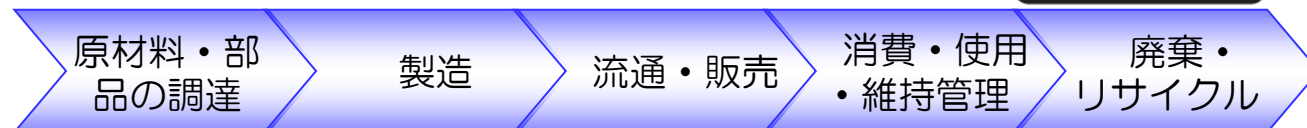
カーボンフットプリント（CFP：炭素の足跡）とは？

温室効果ガス排出量の「見える化」による地球温暖化対策

カーボンフットプリント制度とは、製品（サービス含む）のライフサイクル全般（原材料調達から廃棄・リサイクルまで）で排出された温室効果ガスを、地球温暖化に与える影響の程度によりCO₂相当量に換算し、表示する制度。

（ポイント）

- ・ ライフサイクルアセスメント（ISO14040、14044）手法を用いた算出
- ・ タイプⅢ環境ラベル（ISO14025）手法を用いたコミュニケーションツール



事業者にとっての意義

- サプライチェーン全体の排出量を「見える化」することで、削減効率の高いポイントを把握。事業者単位を超えた一体的な削減対策により、全体最適化を実現。
- 自らの環境負荷低減に対する取組の消費者へのアピール。

消費者にとっての意義

- 消費者によるCO₂排出量の自覚促進
- 環境負荷低減に向けた適切な情報の提供 → **消費行動のためのシグナル**



“カーボンフットプリント(CFP)マーク”

— CO2の見える化と、その削減努力の宣言 —

経済産業省をはじめとした国の4省庁が、2009年度～2011年度にかけて実施した「カーボンフットプリント(CFP)制度試行事業」において公募により、採用された環境ラベル。

現在は、この環境ラベルも含めて試行事業の成果をJEMAI(社団法人産業環境管理協会)が継承し、「カーボンフットプリントコミュニケーションプログラム」(CFPプログラム)の参加マークとして活用。

このマーク上にその商品・サービスの一生に発生する地球温暖化ガスの総排出量を「数値表示したり、

WEBサイト上に

公開(見える化)」

することにより、事業者自ら(CFPマーク)を宣言し、消費者にも事業者のそうした努力を理解いただき、「購買」という形を通じて、削減努力への参加、応援を促す。

2013年春季には、CFPのISO国際規格も発行予定にあり、本マークの認知度向上も含めて今後、本格的なCFPプログラムの普及導入を通じて、地球温暖化問題への対応の一助となるマークとしての活用が期待される。



カーボンフットプリント試行事業
<http://www.cfp-japan.jp>
検証番号:CV-AC02-004



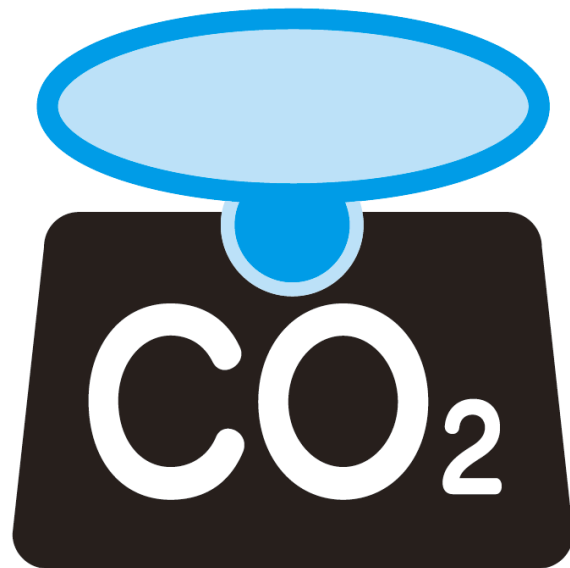
洗濯1回当たり(水位60L)のCO2排出量は280gです。

CFP事務局



社団法人産業環境管理

Japan Environmental Management Association For Industry

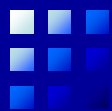


＜マーク作成者からのメッセージ＞

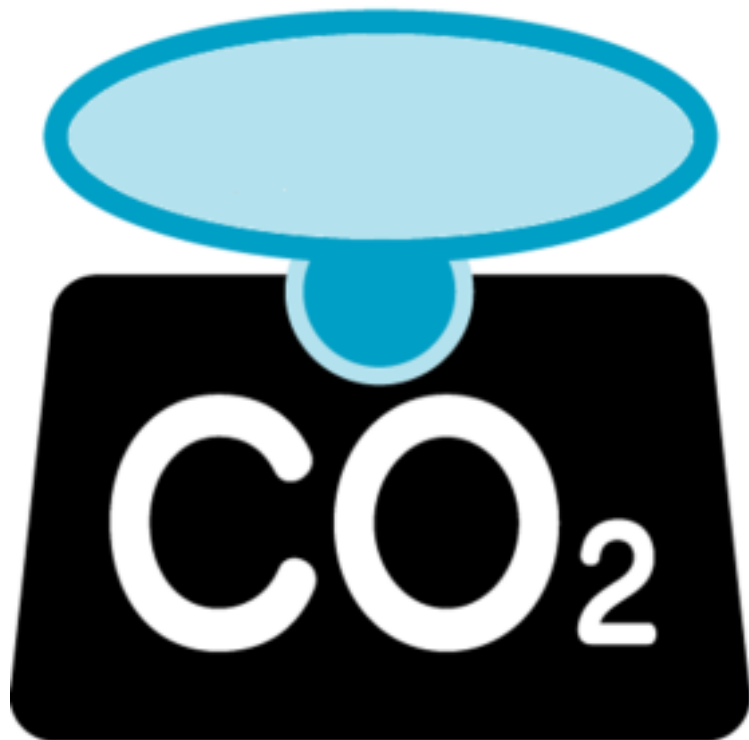
“秤”をモチーフに、デザインしてみました。CO2は見えないものですが、見る人に意識的に「量っている」イメージが伝わればうれしいです。



あ、このマーク!



CFPプログラムの信頼性・透明性確保



◆ 第三者のレビューのもとに策定された製品ごとの算定ルール(CFP-PCR)

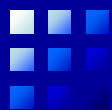
◆ 原材料の調達から廃棄に至るまでのライフサイクルでのCO2算定を行い

◆ 算定結果について、検証員(専門家)による第三者検証を受け

◆ その数値を登録・公開する

プログラムに基づき、第三者の専門家が客観的に確認。
これに基づき適切なコミュニケーションを実施





CFPコミュニケーションについて

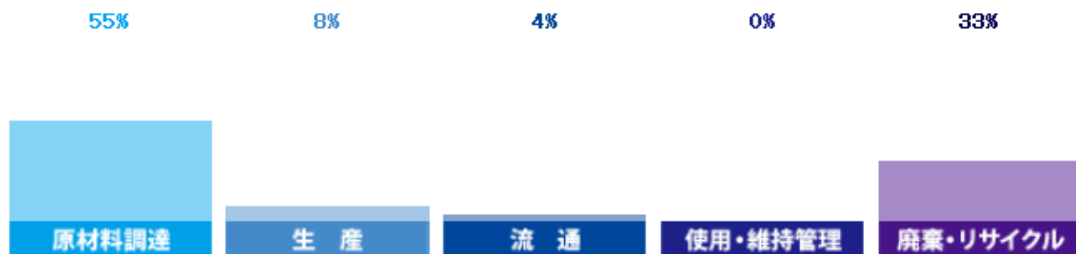
CFP対象製品 (製品詳細)



製品名 : 家庭用ヒタチラップ 30cm×20m
 事業者名 : 日立化成フィルテック株式会社
 関連HP : <http://www.hc-filtec.co.jp/>
 PCR番号 : PA-BC-02
 PCR名称 : 【改訂版】プラスチック製容器包装
 検証番号 : CV-BC02-032
 CO₂排出量 : 345g
 販売単位(1本あたり)

CFP詳細情報はこちら(PDF)

CO₂排出量



詳細情報 <最終財>

(Webサイト公開資料)

1. 製品情報	
1.1	検証番号 CV-BC02-032
1.2	製品名称(日本語) 家庭用ヒタチラップ 30cm×20m
	製品名称(英語) Food Wrap for Consumer Use <Hitachi Wrap> 30cm×20m
	製品型式 HFK 30×20
	製品の主要仕様・諸元 品名 食品包装用ラップフィルム 原材料名 塩化ビニル樹脂 寸法 幅30cm×長さ20m 耐熱温度 130度 耐寒温度 -60度
	CFP算定単位 販売単位(1本あたり)
事業者名(日本語) 日立化成フィルテック株式会社	
事業者名(英語) Hitachi Chemical Filtec Inc.	
PCP算定結果および表示方法	
CFP算定結果 (カーボンフットプリント)	345g ライフサイクル全体のCO ₂ 排出量
内訳(ライフサイクル段階別)	
原材料調達段階	1.91E-01 kg-CO ₂ e
生産段階	2.66E-02 kg-CO ₂ e
流通段階	1.38E-02 kg-CO ₂ e
使用・維持管理段階	0.00E+00 kg-CO ₂ e
廃棄・リサイクル段階	1.14E-01 kg-CO ₂ e
CFPマークへの表示方法	
マーク本体 (必須情報部) の記載内容	<記載内容> 345g <表示方法の種類> ライフサイクル全体のCO ₂ 排出量
追加情報表示部 の記載内容	<p>つくる 1本当たりのCO₂排出量 9% つくる (つかう=0%はこぶ)</p>
備考	
証書情報	
認定PCRの名称	【改訂版】プラスチック製容器包装
認定PCRの番号	PA-BC-02
共通原単位データベース名称	カーボンフットプリント制度移行事業用CO ₂ 換算量共通原単位データベース(暫定版)Ver.3.0
4.4	参考データ適用日 2011年7月26日

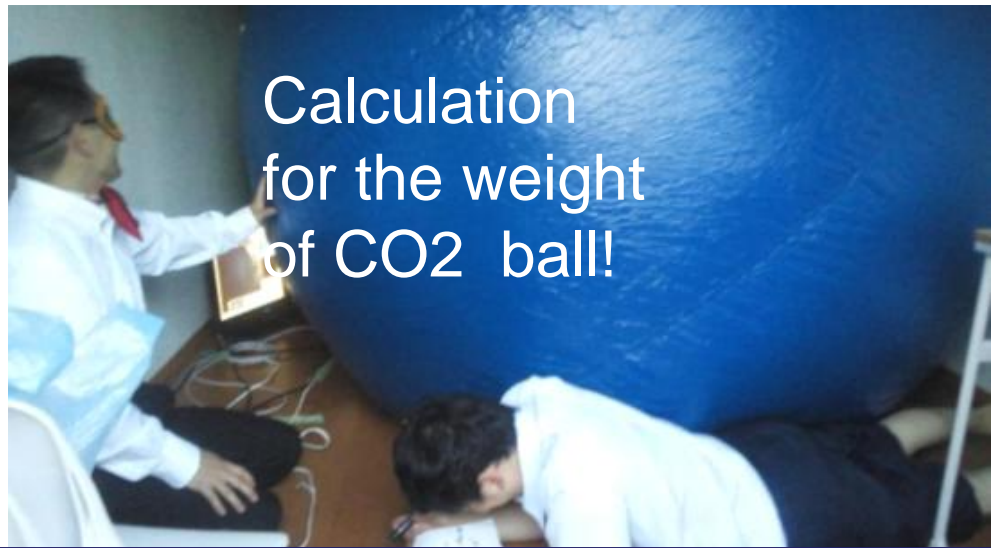


認知度向上と環境学習

CFPマンプロジェクト(エコが見える学校)

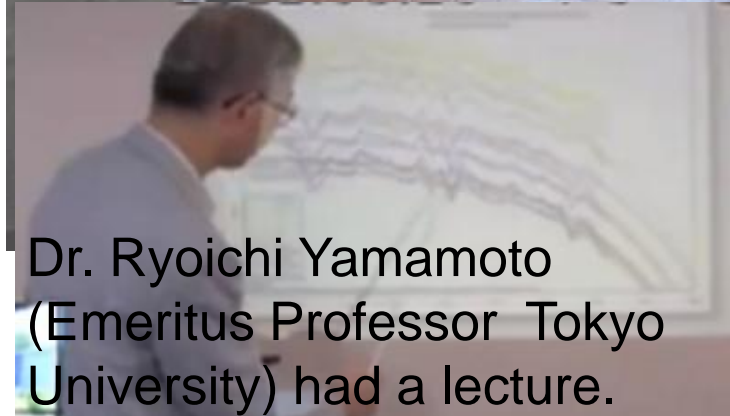


Miss Earth Japan 2011
& CFP MAN



Calculation
for the weight
of CO2 ball!

<http://www.cfpman.com/>



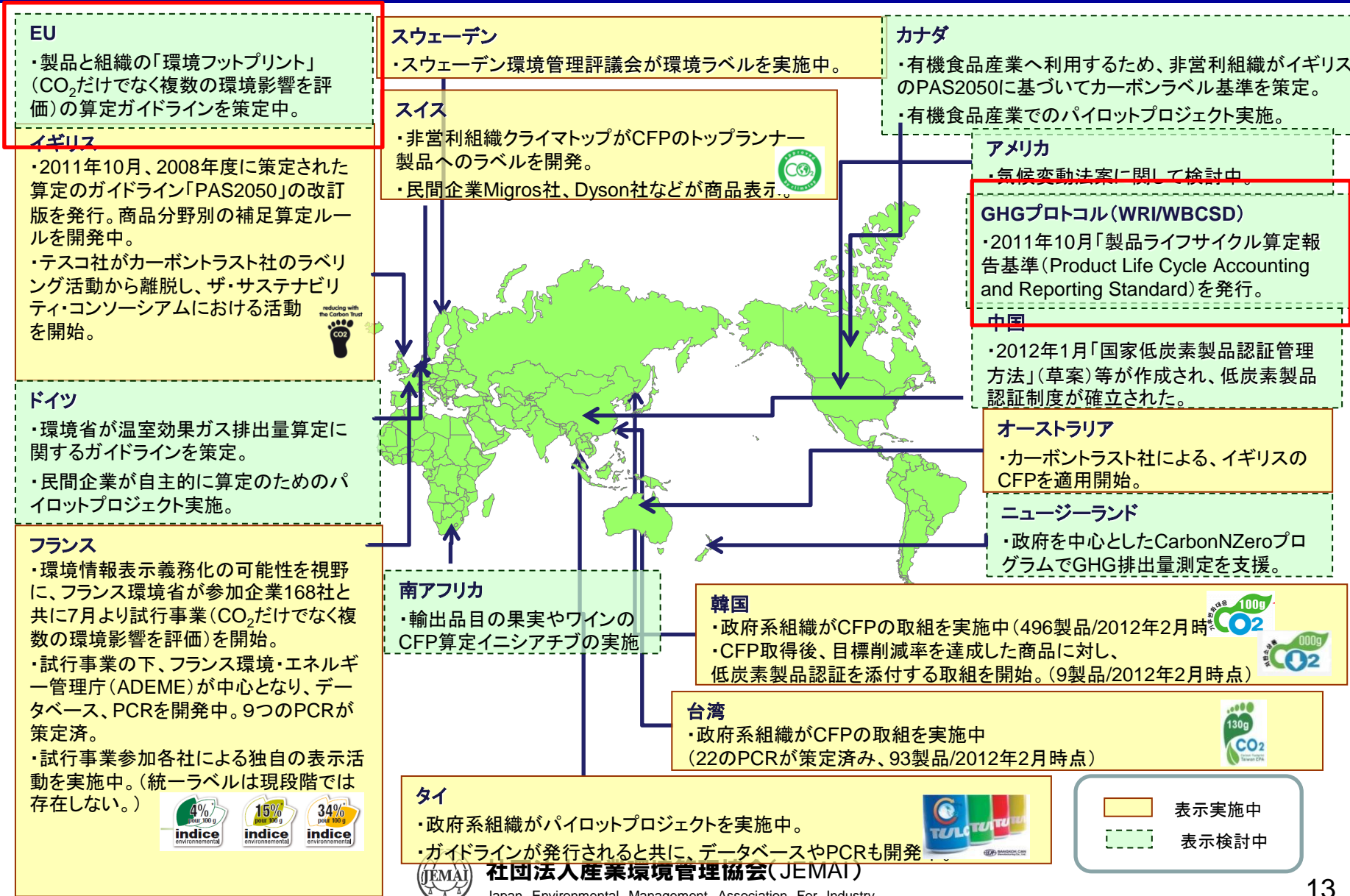
Dr. Ryoichi Yamamoto
(Emeritus Professor Tokyo
University) had a lecture.

Videos
are
available
online!



社団法人産業環境管理協会(JEMAI)
Japan Environmental Management Association For Industry

世界各国におけるCFPの動向

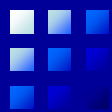


社団法人産業環境管理協会(JEMAI)
Japan Environmental Management Association For Industry


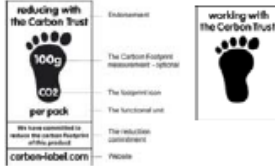





表示実施中 (実線枠)

表示検討中 (点線枠)



各国のCFP制度の比較

	日本	イギリス	フランス	韓国	台湾	タイ
担当 部局	経済産業省 (METI)	環境食料農林省 (DEFRA)	環境・エネルギー管理庁 (ADEME)	環境産業技術院 (KEITI)	環境保護署 (EPA)	温室効果ガス管理機構 (TGO)
制度 状況	2012年4月以降民間移行	民間移行済み	政府主導による制度構築段階	政府主導による制度構築段階	政府主導による制度構築段階	政府主導による制度構築段階
ガイド ライン	・カーボンフットプリント 制度の在り方 (指針) ・商品種別算定基準 (PCR) 策定基準	PAS2050	BP X30-323-0	Guidelines for carbon footprint of products	産品與服務碳足跡計算指 引	The National Guidance on Carbon Footprint Calculation for Products
PCR の 有無	有り	無し ※ただし、セクターごとの補 足要求事項の作成が現在進 められている	有り	無し ※ただし、エネルギー使用 型製品は製品使用時のシ ナリオが製品カテゴリー ごとに規定されている	有り	有り
検証	第三者検証有り	第三者検証有り (UKAS 認定の4つの検証 機関)	表示実験中につき未定	第三者検証有り	第三者検証有り (9つの検証機関)	第三者検証有り (TGO 登録の個人検証 員)
表示	 GHG 排出量 (CO2 換算)	 GHG 排出量 (CO2 換算) ※ただし、このマークは Carbon Trustのみ使用可	現在検討中 GHG 排出量を含めた複数の 環境影響	 GHG 排出量 (CO2 換算) 低炭素製品認証	 GHG 排出量 (CO2 換算)	 GHG 排出量 (CO2 換算)
有効 期限	試行事業期間中	2年ごとに再認証	表示実験中につき未定	3年間	3年間	2年間

※有効期限についてはマーク表示より計算





環境フットプリント

【概要】

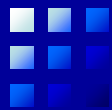
- 欧州委員会(EC: European Commission)の環境総局(DG ENV*1)はJRC IES*2と共に、2011年3月から、CO2以外の指標も考慮した「製品の環境フットプリント」と「組織の環境フットプリント」に関する方法論の開発を開始。

*1 DG ENV: Directorate-General Environment

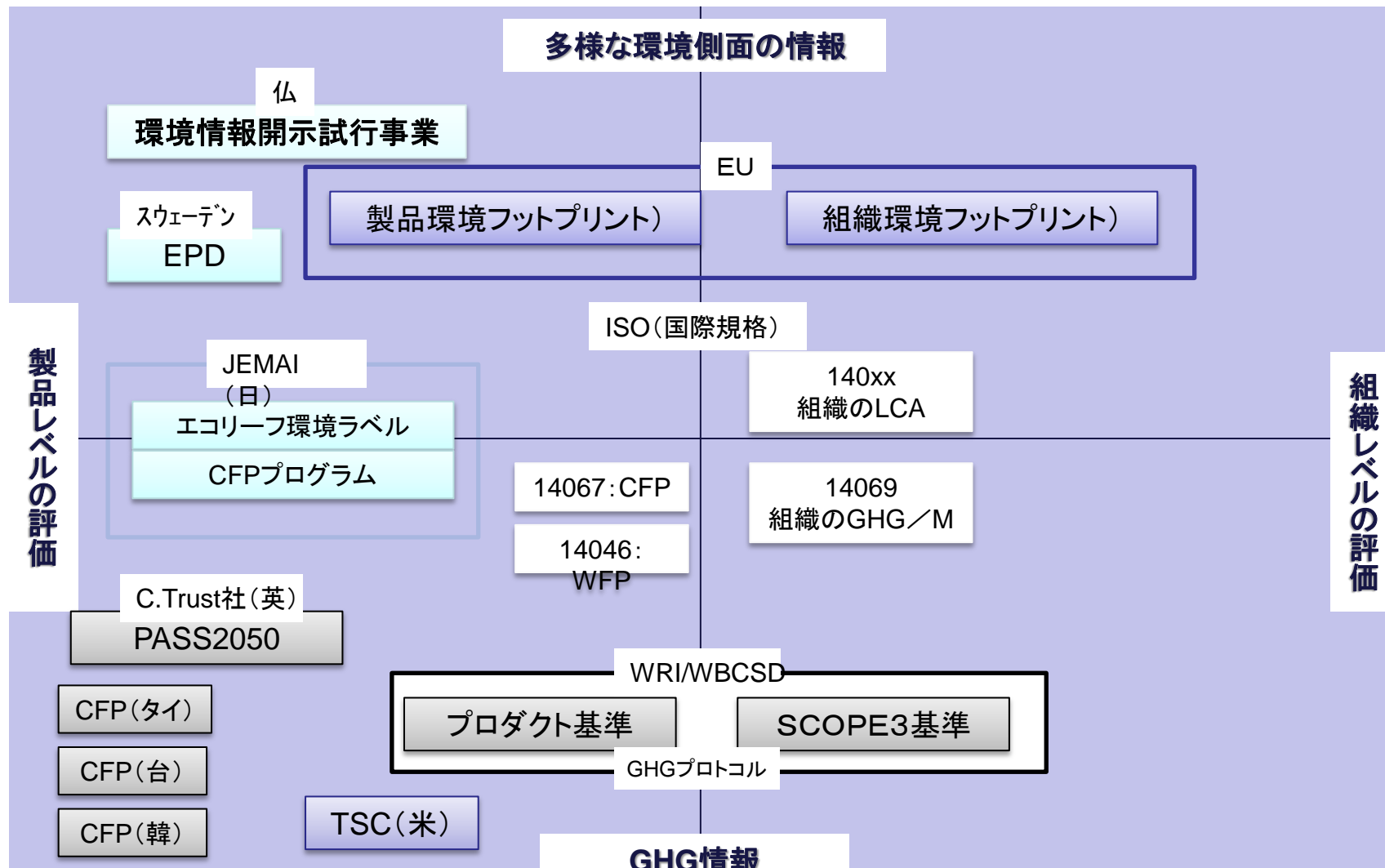
*2 JRC IES :the European Commission's Joint Research Centre, the Institute for Environment and Sustainability

【原則】

- ライフサイクルアプローチ
 - カーボンリーケージ問題等の解決手段として、政策的にLCAを活用する発想が根底にある模様。
 - 公共調達要件として、ライフサイクル環境影響評価の義務化なども検討中。
- 全ての関連する環境影響を考慮
 - CO2を含む14の環境影響分類を規定。
- 可能な範囲で既存のEU、国際的アプローチと協調
- 製品カテゴリ／セクターベースアプローチ
- 比較可能性を重視

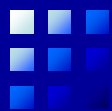


情報開示ツールを巡る国際動向

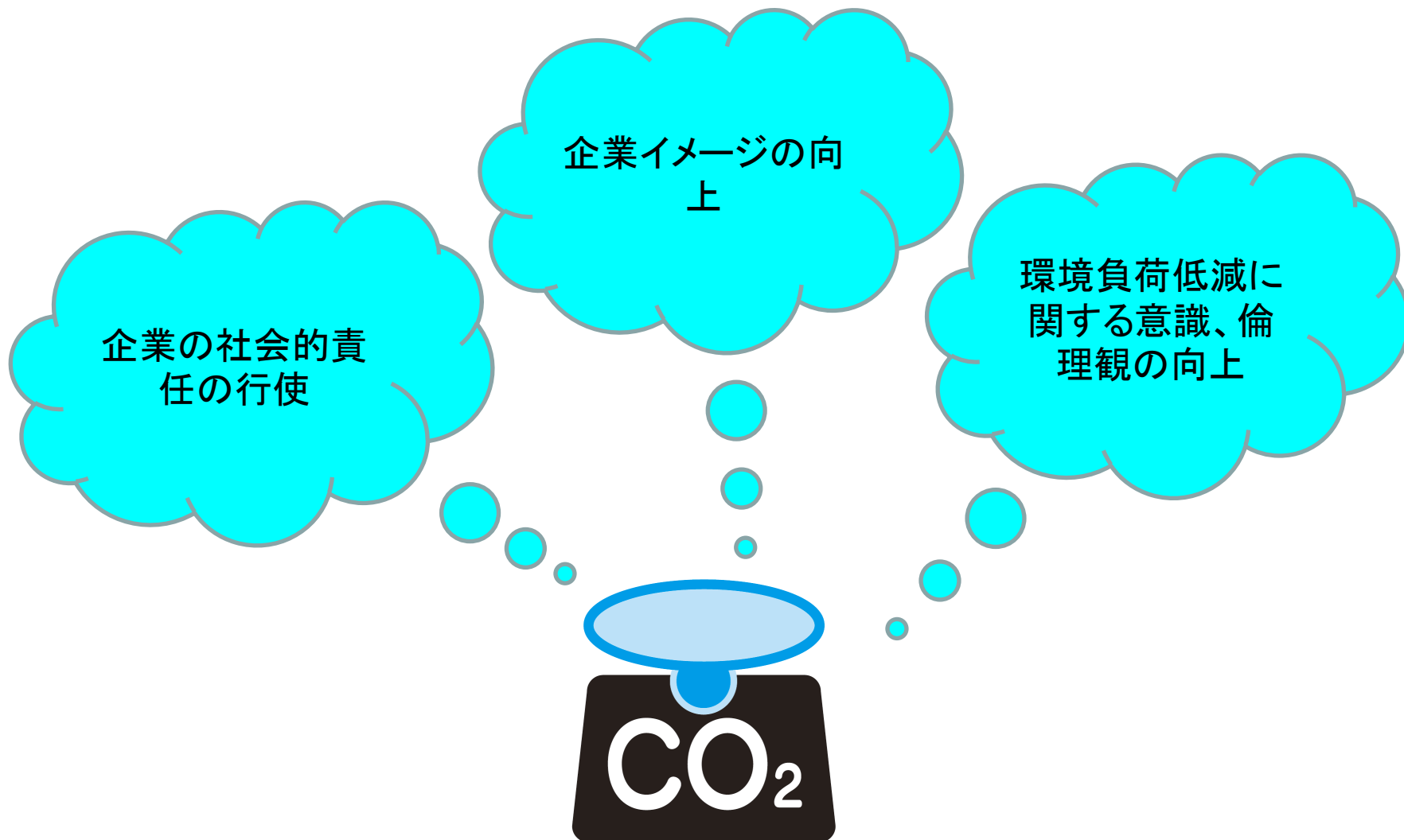


✓日本企業の環境経営におけるコミュニケーションの多様な評価軸(環境側面の単一⇄複数指標、製品⇄組織の評価、国内市場⇄海外市場)において、**新CFP・エコリーフを包括的なツールに展開させることを目指す。**

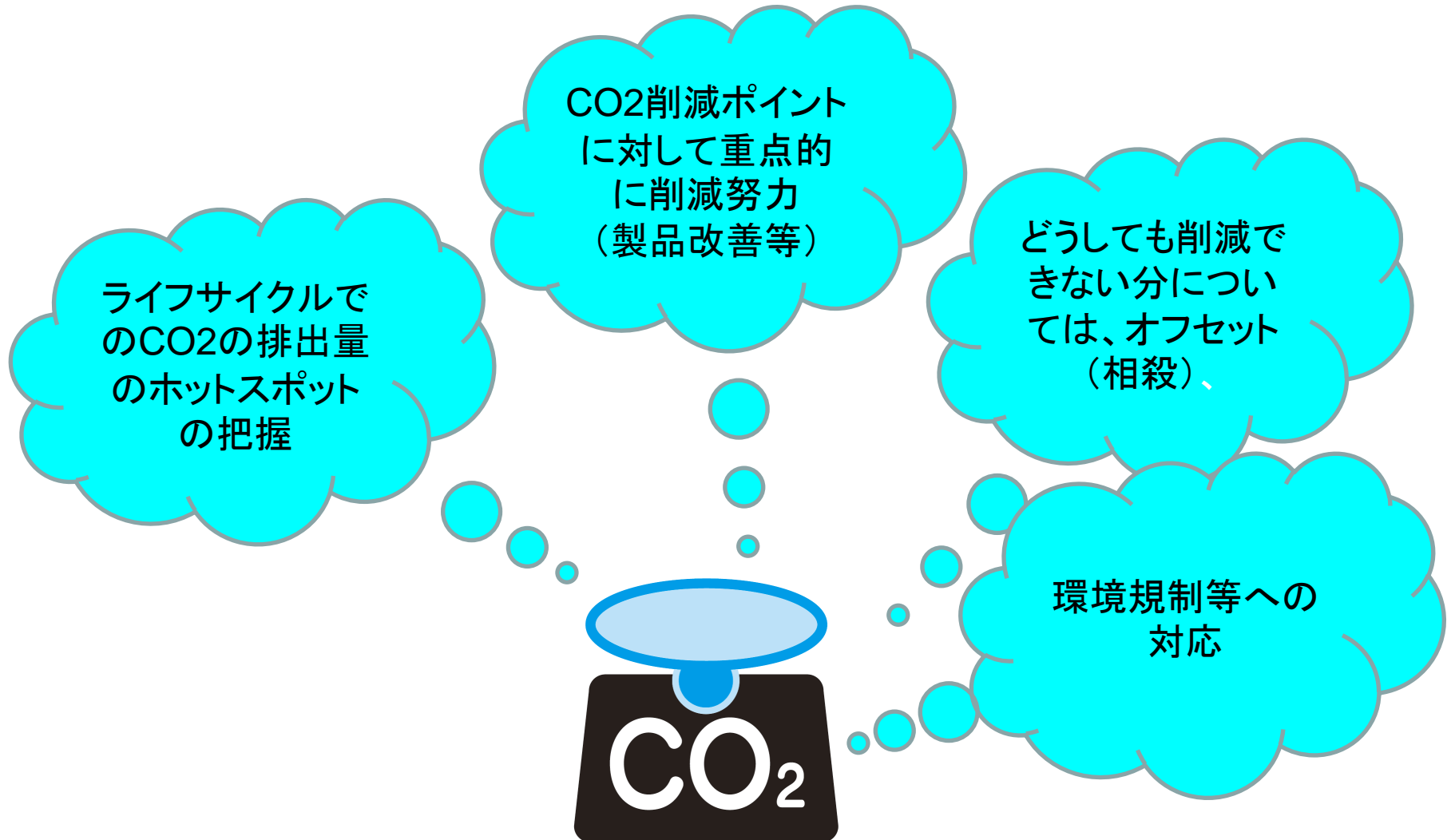


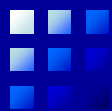


社会的アプローチメリット



地球環境問題対応アプローチメリット





経済的アプローチメリット

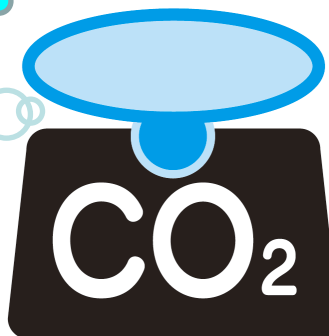
CO2削減努力を
通じたコストダウ
ン

CFP製品の市場
競争力アップ？
(消費者向け)

取引先からの要
求に対応すること
で、安定した経営
力の確保

グリーン購入エコ
ポイントなど政府
等施策によるイン
センティブの付
与。？

企業経営格付け
の向上(投資家
向け)



CO2の見える化から始めるエコ戦略

ビジネス

時間軸

市場化、優位性確保

克服

見える化

情報管理

地球規模の環境問題

健康被害

資源枯渇:再生可能

多様な領域における環境影響

生物多様性気候変動

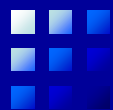
資源枯渇:レアメタル資源

生体毒性

気候変動

資源枯渇:水資源

低炭素社会の構築
(CO2削減)



コミュニケーション



<http://www.facebook.com/CFPCOMMUNITY>



<https://twitter.com/cfpjapan>



■新CFPプログラム情報サイト

<http://www.cfp-japan.jp/>